

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

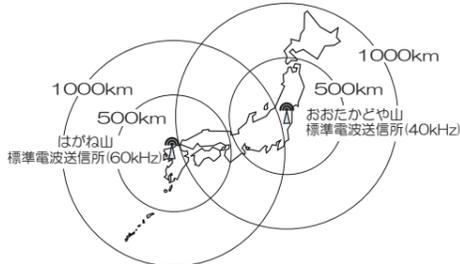
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、情報通信研究機構 日本標準時プロジェクトのホームページをご覧ください。（ホームページアドレス <http://jij.nict.go.jp>）

■使用場所について

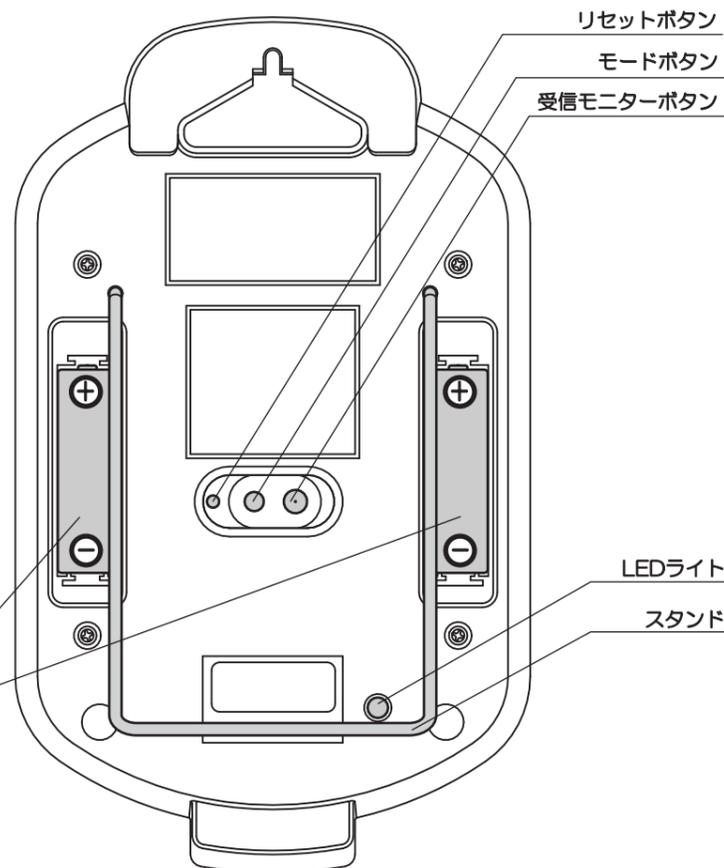
本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。



■操作部

*裏面側



単3マンガン乾電池

リセットボタン

モードボタン

受信モニターボタン

LEDライト

スタンド

■ご使用方法

1. 電池を入れる

（単3マンガン乾電池 2個）

- ① 電池を入れてください。
⊕ ⊖ をまちがえないように注意してください。
- ② リセットボタンを押してください。（ボールペンの先などで押してください。）
※リセットボタンの位置は「■操作部」を参照してください。
しばらくして、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、受信を開始します。

（1:50, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10）

注）電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

- ③ 本機を使用したい場所に掛けてください。この際、窓際などできるだけ受信しやすい場所に掛けてください。

- 受信中はLEDライトが信号に応じて点灯します。
点滅中：受信状態の良い周波数を選択しています。
点灯中：選択した周波数で時刻情報を受信しています。

※受信開始後最初の約2秒間は必ず赤色のLEDライトが点灯します。

受信中は、LEDライトの色によって【表：1】のように受信状態を示します。（最長約20分間）

【表：1】

LEDライトの状態	受信状態
緑色が連続点灯	電波状態が良く受信可能
緑色が連続点灯し、たまに赤色点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
赤色と緑色が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
赤色が連続点灯し、たまに緑色点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
赤色が連続点灯	電波状態が悪く受信不可能

- 受信に成功した場合
LEDライトが消灯し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「0秒」に合わせて針が動き出します。
- 受信できなかった場合
LEDライトが消灯します。
このとき時分針の時刻修正は行いません。下記「2. 時刻の合わせかた」の方法にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

2. 時刻の合わせかた

2.1 電波を強制的に受信して時刻を合わせる
受信モニターボタンを約2秒以上押し続けると受信を開始します。受信に要する時間は、最長約20分間です。

- 受信中は、LEDライトが信号に応じて点灯します。
【表：1】参照

※ 受信中は運針が停止することがあります。

- 受信ができない場合は、場所を変えてもう一度受信させてください。詳しくは「電波クロックについて」をお読みください。
また、1日の内で夜間のほうが昼間に比べて比較的受信状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一昼夜掛けることにより受信できる場合があります。
※受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。

2.2 手動で時刻を合わせる

標準電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせるができます。

- ① モードボタンを6秒以上押します。
- ② 受信モニターボタンを一回押すと、分針を1分づつ送り、押し続けるとボタンを離すまで、送り続けます。
- ③ モードボタンを押すと同時に、針が動き出します。

3. 自動受信

- ① 毎日8回、自動で受信を行いません。（自動受信時、LEDライトは点灯しません。）
- ② 受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。
※受信中（最長約20分間）は不規則な動きをすることがあります。
- 分針：約30秒毎に運針

4. 受信結果を見る

通常運針中に受信モニターボタンを1回押す（2秒以下）と前回の受信結果を表示します。

- 24時間以内に受信できた場合は“緑”が点滅します。
- 24時間以内に1度も受信できなかった場合は“赤”が点滅します。

■ご注意

- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

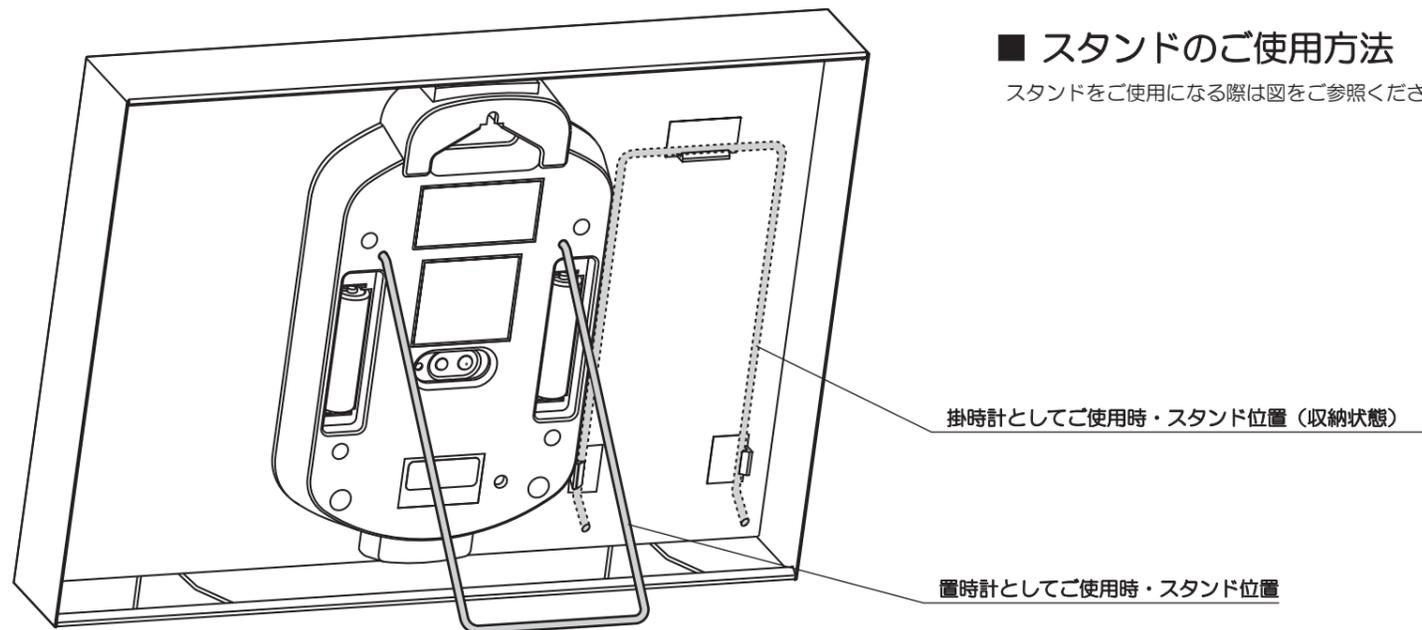
5. 電波受信を止める

この時計には下記手順により、電波受信を止める機能があります。（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください）

- ① リセットボタンを押してください。（ボールペンの先などで押してください。）
 - ② モードボタンと受信モニターボタンを同時に押しながら、リセットボタンを一度押してください。
 - ③ LEDライトの“赤”“緑”が5回同時に点滅したらモードボタンと受信モニターボタンを放してください。
※LEDライトが点滅しない場合や“緑”のライトしか点滅しない場合は再度リセットボタンを押し、再度②から操作してください。
 - ④ 時分針が動き出します。動きが停止してから、「2.2 手動で時刻を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
- この機能を設定した後も受信モニターボタンを2秒以上押すと強制受信を開始しますが、その後自動的に受信はしません。
 - この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

■スタンドのご使用方法

スタンドをご使用になる際は図をご参照ください。



掛時計としてご使用時・スタンド位置（収納状態）

置時計としてご使用時・スタンド位置